

## 令和2年度 健康推進課 主たる事業(実績)

## 母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、妊婦・乳幼児健康診査や健康相談、家庭訪問、健康教育等の各種母子保健事業を実施しました。

## 1 妊婦健康診査

妊娠の届出があった妊婦に対し、母子保健のしおりを発行し、全員に保健師による面接を行いました。妊娠届出時のアンケートや、妊娠経過、こころの状態、家庭環境等から支援が必要な妊婦を把握し、必要に応じ電話等により支援を行いました。

また、14 回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても、償還払いによる健診費用の助成を行いました。

○母子保健のしおりの交付 : 192 人(母子手帳交付時の交付 186 人(双胎 1 件)、  
転入妊婦 6 人)

○1～14 回妊婦健診受診者数 : 延べ 2,215 人

○県外助成 : 9 人

## 2 家庭訪問

生後 1～2 か月の乳児がいる家庭へ、保健師、訪問員が全戸訪問を実施し、産婦に対し産後うつ程度を確認するための『エジンバラ産後うつ質問票 (EPDS)』等によりこころの状態を確認し、育児不安や育児環境等への保健指導を行いました。緊急事態宣言発令中は、資料配付訪問で対応し、必要な児に対してのみ計測、相談を訪問、面談で行いました。

また、出産時の状況や産婦健診等で EPDS 高値の人や、育児不安のある人、身体面や育児環境等で経過観察が必要なケースは、医療機関と連携し、早期に保健師による訪問等を実施しました。

○赤ちゃん訪問 : 174 人 (訪問 132 人 来所 9 人 訪問資料ポストイン 33 人)  
うち訪問員実施分 26 人

○随時訪問 (フォロー児) : 延べ 36 人

## 3 思春期保健事業

昨年まで実施していた「赤ちゃんふれあい教室」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、乳児親子や母子保健推進員の協力が難しいことから中止し、性感染症に関する知識の普及と健康教育を通して自分自身の大切さに気づくことを目的に保健師による思春期出前講座を市内の全中学校に実施しました。

○思春期出前講座 : 10 回 299 人(中学 3 年生)

## 令和3年度 健康推進課 主たる事業(計画)

### 母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、子どもの健やかな成長や保護者の育児を支援するため、引き続き母子保健事業を実施します。

#### 1 妊婦健康診査

妊娠の届出の窓口を子育て世代包括支援センターで対応し、保健師・助産師・看護師が面接することにより、妊娠届出時から、支援が必要な妊婦を早期に把握し、出産後適切な育児ができるよう、途切れのない支援を行います。

14回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても償還払いによる県外助成を行います。また多胎妊婦については、必要に応じて受診券の追加交付を行います。

#### 2 家庭訪問

生後1～2か月の乳児がいる家庭へ、保健師、助産師、訪問員が全戸訪問を行います。また乳幼児健診等で要フォローとなった乳幼児のいる家庭や、産後うつが心配される産婦に対して保健師が随時訪問を行い、発育発達の状況を確認や、産後のメンタルケアに積極的に取り組みます。妊娠届出時の状況や、妊婦健康診査の結果等により、必要に応じて家庭訪問や産後ケア事業等を紹介し、安心して出産・育児ができるよう支援していきます。

#### 3 思春期保健事業

「赤ちゃんふれあい教室」のコロナ禍での再開は難しく、思春期世代に対する他の課題へのアプローチを検討します。昨年度に引き続き、性感染症とメディアリテラシーを考える出前講座に加え、将来の健康づくりに向けたヒントを学ぶ「思春期健康づくり講座」の出前講座プログラム新設を目指します。